

対談 教頭先生×PTA母親代表



「教頭先生ってどんな人？」そんな声から実現したこの企画。
母親代表の二人、どこまで教頭先生の素顔に迫れるでしょうか？

内之浦から種子島へいらっしゃったそうですが、種子島の印象は？

そうですね、種子島はすごく地層が綺麗。

鹿児島県の中でも、かなり珍しいと思います。
実は20年前に屋久島に赴任していたんですけど、屋久島は火山隆起の地形で。

県本土はシラス台地ですから、これほどまで綺麗な地層はなかなか見ることができません。

校庭で化石探しをできるのも珍しいんじゃないかな。

僕、この前木の化石を校内で見つけて、すごくはしゃいでしまって（笑）

後、種子島は朝日を浴びることができて、夕日を眺められる。

意外と種子島に住んでいる子供たちはその贅沢さを知らないんじゃないかな。

僕が小中高と過ごした奄美大島でもそんな経験できなかったの、鹿児島県の離島でも朝日と夕日を同じ場所で見ることができるのは、なかなかないんですよ。

子供たちにも是非その贅沢を堪能して欲しいです。



野間っ子の印象は？

とにかく物怖じしない子達が多いですね。

野間小学校は島内の中で児童数も多い方ですし、大人数に触れているからなんですかね？

ハニカミ屋さんもたまにいますが、本当に明るい子達が多いです。



臨時で授業に入ることがあるんですが、教頭になってからデスクワークに慣れてしまって、最初は「どうしたらいいかな？」「何でワクワクさせようかな？」と悩む時があるんですけど、子供たちに背中を押されるみたいに扉が開いていきますね。

僕は、子供たちに色々なことを知って欲しくて。知識だけではなくて、これから出ていく世界はすごく広くて色々な美味しいもの、楽しいもの、まだまだ君たちが知らないものがあるんだよって教えたくて・・・ちゃんと授業しないといけないとは分かっているんですけどね?! (笑)

教頭先生のルーティンワークを知りたいです!



7時には学校に来て校内の安全確認をして欠席遅刻のメールと

電話確認をして、担任の先生たちに送って、その後7時半に解錠するんですが、30分より前に待ち構えている児童と「7時30分になってから来なさいよお! (笑)」ってやりとりするのが日課になりつつあります。笑

その後はバスのお迎えに行きますね。中山集落と油久集落の子達がバスを使用しているんですけど、車の往来が多いので。

そんな朝のルーティンが終わったら、校内の様子を見回って…その後教育委員会から大事な案件のメールがくるので、目を通したり先生方に周知したりと、対応します。

そんなこんなで書類やらなんやらを処理して、11時半から給食の検食が始まるので、異物がないか確かめながらしっかり味わって食べて…だけどこの時間が校長先生との打ち合わせも兼ねてますね。

その他はスポーツ少年団関係や夜間開放の利用者の方々の作業もあったり…

最後の校舎確認をして帰るのは、18時から18時半くらいですね。

忙しいですか?と聞かれたら忙しいですが、慣れてきているのかなと感じます。

自分が少しでも余裕を持っていなければ、学校長のサポートをできないですからね! (笑)



実は宇宙博士だとお聞きしたのですが??

JAXAが理科の教諭を招待して、米国ヒューストンNASAで教諭向けの授業を10日間行うのですが、僕も嬉しいことにそこへ招待してもらえたことがありまして。英語が全然話せなかったから、とりあえずスピードランニングで！（笑）

だけど随分と笑われました…もう笑うしかないくらい英語が通じなくて

だけど、それがご縁で、出水市の小学校にいる時には公民館講座で、後は鹿児島市立科学館のコズミックカレッジという講座で科学実験教室の講師として登壇する機会も頂きました。

昨年度は、野間小でも4年生と6年生には科学実験講座を開いたんです。コロナの影響でなかなか難しく他の学年とはできなかったのですが…。今年度も4年生と実施予定です。

できたらもっと野間小学校の子供たちにも、地球をふくめた宇宙のすばらしさや、科学の楽しさに触れてもらいたいですね。

もしかして、だから宇宙繋がりです内之浦から種子島の赴任だったのかなってちょっと思いました（笑）



聞いてもいいですか??保護者の印象!

すごく協力的な方ばかりで、本当に嬉しいです。

保護者の方達が、自分の子供達が通っている学校への関心を強く持っている印象があります。

校内清掃にもたくさんの保護者の方がいつも来てくださっていて、保護者と子供、そして僕たち教員の一体感が生まれているんじゃないでしょうか。

重機を持ってきてくださる方までいて、本当にありがたいんです。

もっと僕たち教員で校内の木の剪定など美化活動をやりたいんですけど、とにかく野間小は広いですし、木が多くて手が回らないところもあるので…

もしコロナがなかったら、本当はもっと皆さんと同じ水を飲んで、同じ食事を摂ってと交流したいんですよ。とにかく馴染みたい。

一番寂しい言葉は、長期休みの時期に「先生、いつ鹿児島へ帰省する予定なんですか？」って言われることです（笑）

僕の帰る場所はここによって、寂しくなっちゃうんですよ。（笑）

コロナもあって、バザーの中止や運動会の縮小開催が続いているんですけど、これからどう戻していくか、どう戻していきたいのか、保護者の方々からのご意見をどんどん頂きたいです。

野間っ子へ伝えたいことは？

とにかく色々な世界、社会を見てもらいたいですね。

今まで、色々な子供たちを送り出してきて、その子達が親になっている姿も見て、僕自身もそんな色々な人生と一緒に歩んで行った感覚があるんですよ。

子育てを通して色々僕も経験してきて、一緒に悩んだこともありました。

僕だって挫折を何度も経験して、ここに来るまで決して一本道ではなかったですし。

その上で、”今”だけにとらわれて欲しくないと思います。

君たちの進んでいく道は一つじゃないから、なんの失敗をしたとしても、実はそれは失敗じゃなくて経験だということを、これから辛い状況になった時にこそ思い出してほしい。

”願ったところに到達できる、だけどその過程はいくらでもあるし、方法だって変えることができる”っていうところですかね。

自分のなりたい自分を見つけられたら、後は試行錯誤を重ねるだけだけれど、その時色々な世界と社会があるってことを知らなかったら、行き詰まってしまうんじゃないかな。

どんな状況に置かれても、自分や未来への想像をやめて欲しくないです。



副会長さん

教頭先生

副会長さん